



JICA野球隊員チーム vs 現地成人チームの試合後



## ブラジルにおける日本の国際協力60周年記念イベント

～JICA日系社会青年海外協力隊 野球・ソフトボール隊員による国際親善試合～

2019年5月18日（土）・19日（日）

2019年5月18日（土）・19日（日）、ブラジルにおける日本の国際協力60周年を記念し、同国内7州15都市で活動中の日系社会青年海外協力隊員15名（野球・ソフトボール職種）がサンパウロ近郊に集まり、現地成人チームとの国際親善試合、及び野球・ソフトボール教室を実施しました。

18日（土）は2018年全ブラジル野球大会準優勝チームであるアニャンゲーラ日系クラブと対戦し、雨天のため4イニング限定ながらJICAチームが8-3で勝利、翌19日（日）はインダイアツーバ日伯文化体育協会ソフトボールチームと対戦し13-0で勝利を収めました。隊員たちは「日本人らしいプレー」を心掛け、試合前ノックの雰囲気から、試合中の全力プレー、試合後のグラウンド整備まで観客を魅了し続けました。両日とも親善試合前後に実施された地域の子供向け野球・ソフトボール教室では計200名以上の少年少女が集まり、隊員による指導に真剣な表情で聞き入る姿や笑顔で楽しむ姿が見られ、イベントは成功裏に終わりました。JICAは今後もこのようなイベントへの支援を継続し、日本・ブラジル両国関係の強化及びブラジルの抱える課題解決に取り組んでいきます。

～活動や目指す成果～

### 地域における野球普及・発展

本イベントで、ブラジルではマイナースポーツである野球・ソフトボールの認知度を高め、野球・ソフトボール教室を通して子供たちへ直接指導する事や親善試合にて模範を示す事により、競技レベルの向上に貢献しました。

### 日系社会との連携強化

本イベントは青年海外協力隊員配属先である2つの日系団体とJICAブラジル事務所との共催で実施しました。更に5つの隊員配属先日系団体から野球・ソフトボールチーム所属選手が教室に参加し、もう1団体が後援団体として設備面での支援を行いました。本イベントの企画・準備・開催を通じてこれら団体との連携を深めました。

### 日本-ブラジル相互理解の深化

本イベントを通じて、ブラジルの方々に「日本人らしさ」とは何かを伝えることができました。例えば、「チームプレーを重んじる事（思いやりの心）」、「常に全力でプレーする事（対戦相手への敬意）」、「試合後のグラウンド整備（ものを大切にす姿勢）」等の日本らしい美德を広めるきっかけになりました。